

一 目 統 計

平成14年中

救 助 出 場 件 数	183件
（うち 特別救助隊 出場件数）	105件）
救 助 活 動 件 数	113件
（うち 特別救助隊 活動件数）	58件）
活 動 割 合	61.2%
出 場 延 べ 隊 数	523隊
救 助 人 員	117人
一日あたりの平均出場件数	0.50件
活動1回あたりの平均救助人員	1.04人

救助の多い少ない

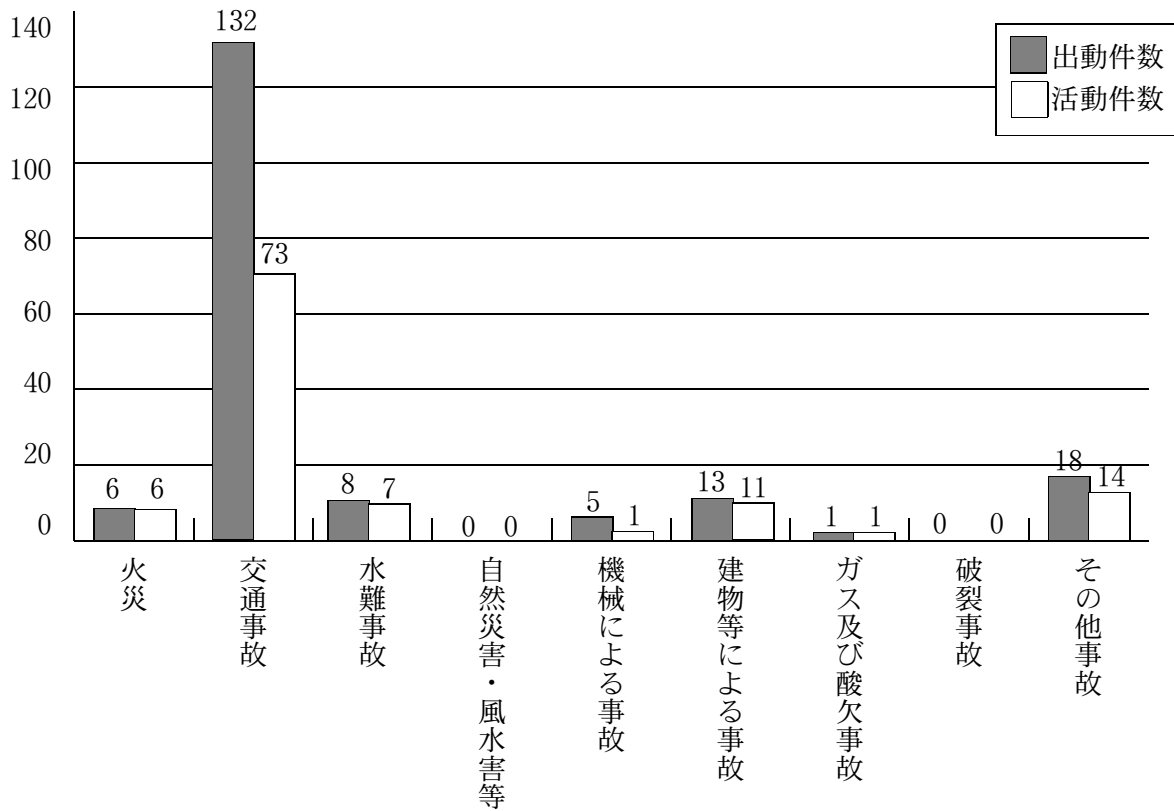
出 場 件 数 の 多 か っ た 月	12月	24件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 月	7月	6件
出 場 件 数 の 多 か っ た 曜 日	火曜日	37件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 曜 日	月曜日	14件
出 場 件 数 の 多 か っ た 地 区	日永地区 内部地区	15件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 地 区	同和地区 中央地区	0件
出 場 件 数 の 多 か っ た 時 間 帯	9時～10時	13件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 時 間 帯	22時～23時	3件
出 場 の 多 か っ た 事 故 種 別	交通事故	132件
出 場 件 数 の 一 番 多 か っ た 日	3月23日 8月20日 9月8日 9月10日 12月3日 12月19日	3件

救出・救助活動状況

(平成14年中)

	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自然災害・風水害等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 場 件 数	6	132	8	0	5	13	1	0	18	183
出 場 隊 数	27	381	31	0	14	25	8	0	37	523
出 場 延 べ 人 員	157	1,374	126	0	49	93	29	0	128	1,956
活 動 件 数	6	73	7	0	1	11	1	0	14	113
救 助 人 員	2	80	6	0	1	11	3	0	14	117

出動件数 活動件数



一 目 統 計

平成14年中

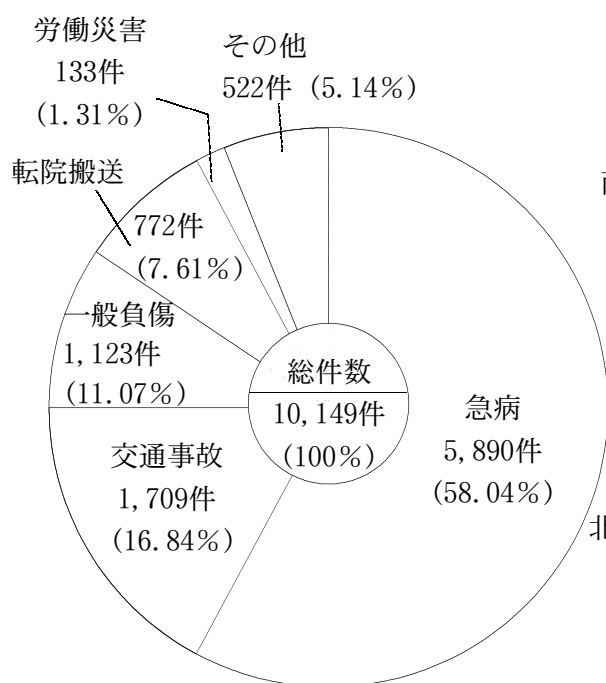
救 急 出 場 件 数		10,149件
搬 送 件 数		9,345件
不 搬 送 件 数		804件
搬 送 人 員		9,792人
	男	5,236人
	女	4,556人
一日あたりの平均出場件数		27.8件
一日あたりの平均搬送人員		26.8人
救急告示医療機関数		19施設 (川越町2施設) (朝日町1施設)
出場件数の多かった月	12月	982件
出場件数の少なかった月	4月	772件
出場件数の多かった曜日	水曜日	1,507件
出場件数の少なかった曜日	土曜日	1,387件
出場件数の多かった地区	常磐地区	797件
出場件数の少なかった地区	同和地区	42件
出場件数の多かった時間帯	8時～10時	1,157件
出場件数の少なかった時間帯	4時～6時	390件
出場の多かった事故種別	急病	5,890件
出場件数の一番多かった日	10月16日	49件
出場件数の一番少なかった日	6月25日	14件

救急事故概要

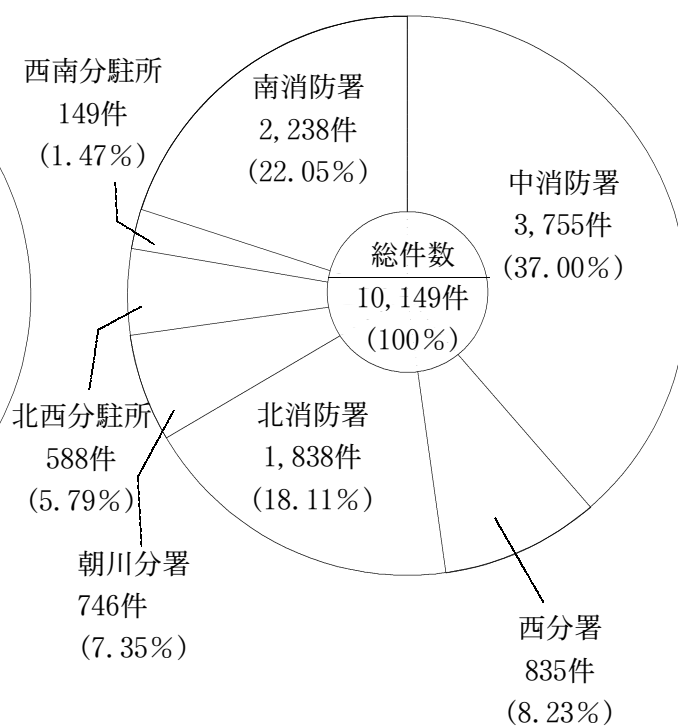
(平成14年中)

区 分	件 数 ・ 人 員	一 日 平 均
救急出場件数	10,149件	27.8件
搬送件数	9,345件	25.6件
搬送人員	9,792人	26.8人

〈事故別救急出場件数〉
(平成14年中)



〈救急隊別件数〉
(平成14年中)

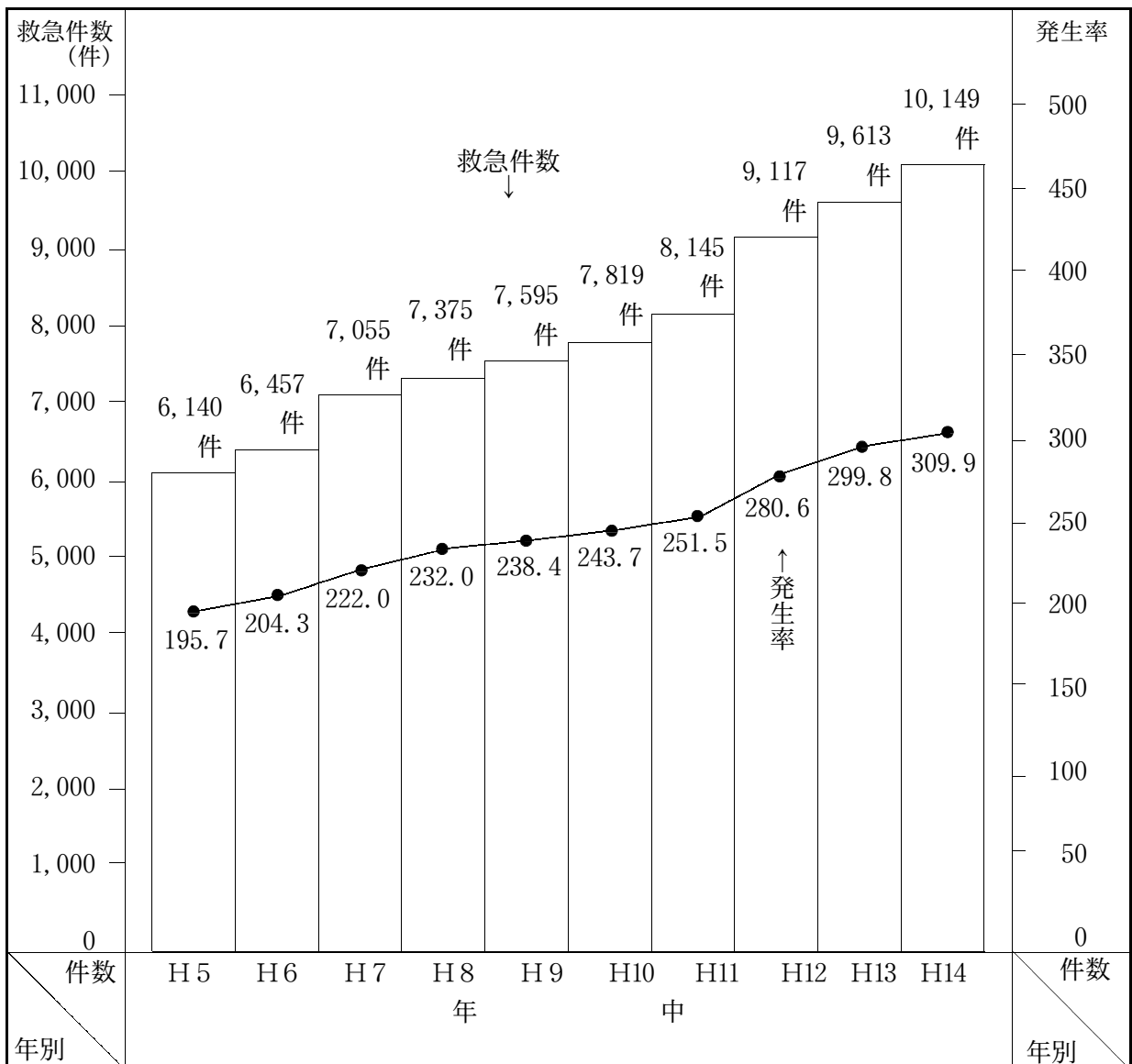


救急事故発生状況比較

年 度		平成10年中	平成11年中	平成12年中	平成13年中	平成14年中
区 分						
全 国	救急件数	3,702,075件	3,930,024件	4,182,675件	4,397,527件	件
	発生件数	295.4件	313.0件	329.5件	346.5件	件
三重県	救急件数	45,637件	48,834件	53,187件	56,002件	57,706件
	発生件数	245.4件	265.2件	288.6件	301.5件	309.8件
四日市市 (受託3町 含む)	救急件数	7,819件	8,145件	9,117件	9,613件	10,149件
	発生件数	243.7件	251.5件	280.6件	299.8件	309.9件

※平成5年から受託3町を含めた内容となっている $\text{※人口1万人あたりの発生件数} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人口}} \times 10,000$

過去10年間の救急発生状況



地区別救急出場状況

(平成14年中)

区分		出 場 件 数		搬 送 件 数		搬 送 人 員	
地区別							
合 計		10,149件	100%	9,345件	100%	9,792件	100%
中 消 防 署	小 計	4,412	43.47	4,039	43.22	4,224	43.14
	共 同	644	6.35	578	6.19	596	6.09
	同 和	42	0.41	40	0.43	42	0.43
	中 央	122	1.20	114	1.22	114	1.16
	港	131	1.29	124	1.33	128	1.31
	浜 田	510	5.03	471	5.04	508	5.19
	橋 北	248	2.44	227	2.43	237	2.42
	海 蔵	308	3.03	285	3.05	297	3.03
	常 磐	797	7.85	740	7.92	763	7.79
	川 島	155	1.53	145	1.55	148	1.51
	神 前	217	2.14	195	2.09	207	2.11
	桜	407	4.01	355	3.80	381	3.89
	県	189	1.86	172	1.84	184	1.88
	三 重	642	6.33	593	6.35	619	6.32
北 消 防 署	小 計	2,467	24.31	2,299	24.60	2,390	24.41
	羽 津	506	4.99	466	4.99	497	5.08
	富 田	429	4.23	405	4.33	424	4.33
	富洲原	367	3.62	339	3.63	355	3.63
	大矢知	420	4.14	399	4.27	407	4.16
	八 郷	292	2.88	271	2.90	276	2.82
	下 野	275	2.71	256	2.74	260	2.66
	保 々	178	1.75	163	1.74	171	1.75
南 消 防 署	小 計	2,335	23.01	2,166	23.18	2,278	23.26
	塩 浜	250	2.46	235	2.51	245	2.50
	日 永	786	7.74	754	8.07	773	7.89
	四 郷	564	5.56	521	5.58	538	5.49
	内 部	355	3.50	323	3.46	358	3.66
	河原田	159	1.57	140	1.50	156	1.59
	小山田	136	1.34	122	1.31	133	1.36
	水 沢	85	0.84	71	0.76	75	0.77
高速自動車道	32	0.32	29	0.31	36	0.37	
市 外	小 計	903	8.90	812	8.69	864	8.82
	朝日町	201	1.98	177	1.89	190	1.94
	川越町	401	3.95	356	3.81	386	3.94
	楠 町	297	2.93	276	2.95	286	2.92
	その他	4	0.04	3	0.03	2	0.02

月別救急出場状況

事故別	区分	月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出場件数	10,149	870	786	857	772	767	778	878	874	777	878	930	982
	搬送人員	9,792	869	737	821	730	746	789	825	851	728	853	916	927
火災	出場件数	80	3	4	7	6	2	9	9	2	12	7	10	9
	搬送人員	29	1	0	2	5	1	8	2	1	2	2	3	2
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	4	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通	出場件数	1,709	132	125	157	131	150	145	123	139	132	151	171	153
	搬送人員	1,993	177	140	180	142	176	175	129	172	126	189	209	178
労働災害	出場件数	133	12	10	7	11	7	14	15	13	6	8	22	8
	搬送人員	131	13	10	6	10	7	14	13	13	6	8	23	8
運動競技	出場件数	87	4	4	8	8	9	13	8	8	7	6	9	3
	搬送人員	99	4	4	10	8	12	14	10	9	9	6	10	3
一般負傷	出場件数	1,123	104	89	82	74	108	90	81	108	73	102	114	98
	搬送人員	1,073	102	83	78	72	102	88	78	100	72	95	112	91
加害	出場件数	122	11	9	11	12	9	7	6	8	11	12	11	15
	搬送人員	112	10	6	11	11	7	9	5	7	13	8	11	14
自損行為	出場件数	142	10	6	14	9	11	17	15	15	9	10	9	17
	搬送人員	105	7	5	10	9	8	11	10	11	7	8	7	12
急病	出場件数	5,890	530	464	477	446	414	419	536	525	468	502	502	607
	搬送人員	5,484	496	418	446	402	382	410	505	493	443	465	471	553
転院搬送	出場件数	772	59	70	76	71	51	62	73	46	52	73	73	66
	搬送人員	761	59	70	74	71	51	60	73	45	50	72	70	66
その他	出場件数	87	5	5	17	3	6	2	11	10	6	7	9	6
	搬送人員	5	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0

救急業務高度化の現況

平成14年中の救急出場件数は、前年9,613件に536件を加えた、10,149件となり、とうとう5桁の大台に乗ってしまいました。これは、前年比5.6%の増加になります。

救急車の利用状況は、管内である四日市市、朝日町、川越町、楠町の住民約33人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたりの平均出場件数は、27.8件になります。

その内訳は、急病による出場が第1位で全体の58.0%、次いで交通事故の16.8%、一般負傷の11.1%となっており、ここ数年はこのような傾向が続いています。

また、昨年搬送した傷病者のうち65歳以上の高齢者は、40%近くになっており、高齢者が占める割合は、毎年着実に増加しています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、市街地に配置する3箇所の消防署に5台の救急車を、また西部地域、北西地域と受託地域である朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計8台の救急車を配置して対応してきましたが、平成14年10月、西南地域にも新たに救急車を配置し、計9台の救急車を活用しながら、一秒でも早く救急車を救急現場に到着するための施策を講じています。

また、全ての救急車を高規格救急車に更新するとともに、救急救命士の資格を有する救急隊員を順次それぞれの署所に配置していく計画も持っています。

同時に、住民をはじめ企業等の各団体を対象にした定期的な応急手当の普及啓発も推進しており、ハード・ソフトの両面から救急業務の充実を図っています。

◎ 救急救命士による特定の3行為の処理実績と拡大9項目の応急処置件数

処置内容	気道確保	除細動	静脈路確保	小計	拡大9項目応急処置件数
平成7年中	0	2	0	2	3,773
平成8年中	14	5	5	24	6,309
平成9年中	13	6	1	20	10,406
平成10年中	7	1	1	9	11,389
平成11年中	16	6	5	27	14,726
平成12年中	48	14	26	88	18,329
平成13年中	39	12	26	77	19,722
平成14年中	45	11	28	84	20,636

応急手当の普及計画

四日市市では、119番通報を受けてから救急車到着までに6分40秒の時間を要しています。大切な人の命は、住民が応急手当の方法を身につけ、救急隊が到着するまでの間に、適切な応急手当を施すことによって、救われるものです。

四日市市は、平成6年から応急手当の普及を開始し、応急手当の普及に携わる指導員を手始めに、普通救命講習、上級救命講習、更には応急手当普及員講習といった各企業、団体において応急手当を普及できる人材の養成を行い、また消防職員についてはいかなる場合においても、救急現場に即応できるよう消防職員285名・消防団員322名の応急手当指導員を養成しました。なお、毎月第2土曜日に、一人でも参加できるように定期普通救命講習を実施しています。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習修了者の実績（107回） 2,470人（平成14年中）

講習実施月	講習回数	男女別		修了者数計	消防 防炎 団 隊	自治 会	公務 員	P T A	事業 所等	福祉 関係	学校 関係	その他 (定期 含む)
		男	女									
合計	107	1,236	1,234	2,470	11	10	12	20	13	18	3	20
1月	4	112	48	160		1	2					1
2月	5	19	82	101	1				1	2		1
3月	6	13	30	43		1			1	3		1
4月	5	68	25	93					1	1		3
5月	8	206	27	233	3				1			4
6月	18	141	242	383	2	2	2	7	2	1		2
7月	18	76	390	466				11	1	5		1
8月	7	65	83	148	1		2		2	1		1
9月	8	83	80	163	2	1			2	2		1
10月	13	208	138	346		2	5	1	1	3		1
11月	8	118	46	164	2	3		1	1			1
12月	7	127	43	170			1				3	3

○上級救命講習の実績（13回）

回	実施月	受講対象者	修了者数		
			合 計	男	女
1	3月	県立 四郷高校	35	20	15
2	4月	日本トランスシティ株式会社	33	16	17
3	6月	大橋学園 ユマニテク医療福祉学院	38	20	18
4	6月	県立 朝明高校	36	12	24
5	6月	大橋学園 ユマニテク医療福祉学院	41	16	25
6	9月	職場体験学習 塩浜中学校	4	4	
7	9月	第1回 一般公募 上級救命講習	30	16	14
8	10月	あおい幼稚園 P T A ①	8		8
9	10月	あおい幼稚 P T A ②	14		14
10	10月	四日市医師会 看護専門学校	47	13	34
11	11月	第2回 一般公募 上級救命講習	23	12	11
12	11月	四日市市立 四日市高等看護学院	36	1	35
13	11月	古川学園 向陽台高校	56	34	22
合 計			401名	164名	237名

○応急手当普及員が実施した普通救命講習の実績

コ ン ビ ナ ー ト ・ 一 般 事 業 所 教 職 員 ・ 防 災 隊 ・ 住 民 ・ そ の 他	新 規 講 習 4 回 ・ 再 講 習 1 回 124 名 (男 111 名 ・ 女 13 名)
--	--

○応急手当指導員数

消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 職 員	285名
四 日 市 市 消 防 団	消 防 団 員	322名
そ の 他	防 災 教 育 セ ン タ ー 職 員	6名

応急手当普及活動による救命率の向上

応急手当普及啓発活動により、管内の救急隊が搬送した心肺停止傷病者の内、住民が家族等によって応急手当を受けた傷病者が増加し、救命効果の上昇に大きく寄与しています。

◎ 救急隊が搬送した全ての心肺停止者のうち、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の1か月後の生存者の割合

年 中	救急隊が搬送した全ての 心肺停止傷病者数	家族等により確認され応急 手当が実施された傷病者数	そのうち 1か月後生存者数
		家族等により応急手当が 実施されていない傷病者数	そのうち 1か月後生存者数
平成 7年	163人	22人 (13.5%)	0人 (0.0%)
		141人 (86.5%)	0人 (0.0%)
平成 8年	162人	24人 (14.8%)	0人 (0.0%)
		138人 (85.2%)	3人 (2.2%)
平成 9年	192人	32人 (16.7%)	0人 (0.0%)
		160人 (83.3%)	5人 (3.1%)
平成 10年	207人	46人 (22.2%)	1人 (2.2%)
		161人 (77.8%)	3人 (1.9%)
平成 11年	199人	54人 (27.1%)	4人 (7.4%)
		145人 (72.9%)	1人 (0.7%)
平成 12年	222人	42人 (18.9%)	2人 (4.8%)
		180人 (81.1%)	9人 (5.0%)
平成 13年	204人	69人 (33.8%)	2人 (2.9%)
		135人 (66.2%)	5人 (3.7%)
平成 14年	219人	53人 (24.2%)	0人 (0.0%)
		166人 (75.8%)	3人 (1.4%)